

## 臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院肝胆膵外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 研究課題名：慢性肝障害の背景別にみた肝癌肝切除症例の長期予後に関する後ろ向きコホート研究：研究代表者の所属した2施設での解析

#### 1. 研究の概要

本研究では、1990年代から現在まで肝臓の手術を行ってきた経験を活かし、肝細胞癌治療におけるリスク要因を背景肝の障害の程度から探ることを目的としています。

- 本学の実施体制

【研究責任者】

宮崎大学医学部外科学講座肝胆膵外科学分野 七島 篤志

- 既存情報の提供のみを行う機関の名称と施設責任者の氏名：

長崎大学大学院腫瘍外科学講座 荒井淳一

#### 2. 目的

肝細胞癌（肝臓のがん）は、長期間にわたる肝臓の障害によって発生すると考えられています。肝臓の障害には、肝炎ウイルス感染、自己免疫による肝炎、生活習慣病に伴う肝臓の脂肪化や糖尿病の合併など、さまざまな原因があります。また、日本ではアルコールによる肝臓障害が増加しており、高齢化が進むにつれて患者の平均年齢も変わってきています。本研究では、1990年代から現在まで肝臓の手術を行ってきた経験を活かし、手術の重要性を明らかにするとともに、肝細胞癌治療におけるリスク要因を探ることを目的としています。

#### 3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から2027年3月31日まで

#### 4. 対象者

2015年4月から2022年12月に宮崎大学肝胆膵外科に入院され、肝臓の切除を受けられた肝細胞癌の方が対象となります。長崎大学では1994年1月から2015年3月までの方の情報となります。

#### 5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、基本情報、血液検査結果、画像所見、背景肝の情報、手術に関する所見、診療録の再発の有無と生存の有無や期間に関する情報を利用させていただき、これらの情報をもとに背景の肝障害別に術後の生存や生存期間を解析し、それらを比較して、生存に関わる予後やリスク因子を検討します。

- 本研究で利用する情報の内容  
診療録データ

## 6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

## 7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

## 8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

## 9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

## 10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で実施します。企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

## 11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

## 12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

## 13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院肝胆膵外科学分野  
氏名 七島 篤志  
電話：0985-85-2808 内線 2211  
FAX：0985-85-3780